

商店街まちづくりゼミナール推進事業 実施結果 (平成23年度)

商店街団体名 【所在地】 (アドバイザー)	テーマ	検討内容	成果
仲田本通商店街振興組合 【千種区】 (加藤健二)	○女性部の組織強化 ・商店街(振)女性部が主役としてイベントを企画から実施まで行う体制の整備	・「女性の視点」で内容を企画・実施すること ・町内会の女性の協力を得て、多くの人材で推進すること ・他の商店街で実施している女性だけのイベントを勉強すること 上記3項目に留意してイベントを検討	・女性部によるイベント実施を具体化した。 開催日：平成24年11月に実施(予定) 場所：乗西寺 会議室及び庭 内容：抹茶の野点(のだて)、浴衣の着付け、子どもの伝承遊び(おはじき、ゴム跳びなど) 対象：地域の女性、子ども、家族
藤が丘中央商店街振興組合 【名東区】 (西脇正倫)	○商・学・地域連携事業 ・商店街による駐車場経営終了による財政基盤の低下、直近の公団住宅等を中心とした高齢化が進んでいる ・顧客ニーズの再確認と新たな顧客層の獲得	・南三重からは個性的な食材提供、大学(愛知学院、名古屋芸術)からはマネジメントとパッケージデザイン検討を受け、協働体制をとることによって、新たな商品の開発を検討	・熊野市の新かんきつ類「新姫(にいひめ)」と、ういろうを用いた「新姫ういろう」の商品開発をした。 ・新姫ういろうを餡として仕込んだ「和菓子 姫さんま」の商品開発をした。 ・商店街逸品名品販売会(金山駅コンコース)と商店街での青空市で開発商品を販売した。
日比野商店街振興組合 【熱田区】 (加藤健二)	○逸品商品を各店舗の「販売に結びつけること」に重点をおいた事業実施 ・逸品の地域での認知度が足りないため、PR及び販売促進を企画し実践する	・各店舗での逸品の販売方法について検討(逸品コーナーを作る、ウエルカムボード等でのPR等) ・商店街での逸品の販売、PRについて(各地の物産展、アンテナショップ(ピピっと!あいち)への出展) ・新規逸品の検討及び評価	・逸品7点を認定した。 てる子おばあちゃんの特製サンド(ヒレカツ入り)、はちみつキッチンソープなど ・ひびのこいまつり、白鳥庭園、逸品フェア、商店街逸品名品販売会で逸品を展示・販売した。
一宮浅野商店街振興組合 【一宮市】 (名倉弘二)	○商店街街路灯管理の町内会を中心とした組織への移管とともに、それに伴う発展的な商店街振興組合の解散 ・具体的な段取りやスケジュールなどの計画づくり	・役員の間で考えている構想を具現化するにあたり、街路灯の管理を含む商店街の課題、良いところ(資産)を話し合っ、その上で、どのようなスケジュール、体制で進めていくのかをワークショップ形式で検討	・組合員向けに「街路灯管理に関するアンケート」調査を実施し、組合員の街路灯管理の移管、商店街振興組合解散に向けての組合員の意向を把握することができた。 ・商店街の街路灯の新組織(街路灯管理組合)への移管に向けてのスケジュールをまとめ、具体的に行動していく体制づくりができた。

商店街まちづくりゼミナール推進事業 実施結果 (平成23年度)

商店街団体名 【所在地】 (アドバイザー)	テーマ	検討内容	成果
津島商店街 連合 【津島市】 (加藤健二)	<p>○「駅西フェスタ」のイベント計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年イベントを実施して手応えを掴んだので、続けて集客に効果のあるイベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいイベントとして成功させること、イベント中、各店舗が自ら販促をして、お客様を呼び込むことが必要であることのアドバイスを受け、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンケン大会について、昨年は店舗だけで実施したが、今年は、合わせて本部テント内で「ジャンケンキング」に挑戦する企画を実施し、商品券が当たるイベントとした。 ・各店舗でのジャンケンの方法などマニュアルを配り、各店舗での実施方法を示した。
大府市共和 商業協同組 合 【大府市】 (家田 宏)	<p>○「金メダルのまち共和」をテーマに、各店舗が店づくり3カ条を示し、その実現を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共和にゆかりのあるアスリートに注目し「金メダルのまち共和」を宣言している ・地域資産の発掘やその価値に対する自覚がないこと、目標に向けての首尾一貫した姿勢がないことの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・金メダルのまちとしての店づくり3カ条（金メダル商品の開発、店主のこだわり、店構え）の実践を検討【店づくり3カ条】 ①商品開発：店の歴史や得意な技、人気商品を見出し、金色に輝く魅力的な商品とする。 ②人間開発：一押商品を見出した過程や考え方、こだわりなどを語れるように文章化する。 ③店舗開発：金メダルやGOLDをテーマにしたおしゃれな店構えづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参画店舗の金メダル商品ができつつある。共和の絆（酒）、金メダル焼（和菓子）、黄金の靴、金メダル関連ブックコーナー 等 ・例年事業に加え、組合のアスリートを応援する姿勢・取組が見られるようになった。 ・アスリートの日々研鑽の姿勢、努力の大切さを見習い、共和には何も無い、何もできないという組合のマイナス思考の意識が改革されつつある。
大府市ポイントカード 事業協同組 合 【大府市】 (西脇正倫)	<p>○ポイントカード事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード事業を展開する会員店舗の減少、ポイントカード用機器の老朽化、会員と顧客のコミュニケーション不足の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客確保は、顧客との交流イベントと連動しており、交流イベント告知の方法がチラシのみの現段階では、携帯ネットワークなどのコミュニケーションツールを確立する必要があることについてアドバイスを受け検討 ・ポイントカードとシールカードの類似と相違を示し、転換時の課題について具体的にアドバイスを受け検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード事業をシールカード事業へ転換することが確定した。

商店街まちづくりゼミナール推進事業 実施結果 (平成23年度)

商店街団体名 【所在地】 (アドバイザー)	テ ー マ	検 討 内 容	成 果
半田市成岩南部商店街振興組合 【半田市】 (名倉弘二)	<p>○成岩南部商店街の中心に位置する名鉄青山駅の高架化に伴い、周辺をより利便性の高い地域へするための計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街は駅の高架化に伴い、周辺を利便性の高い地域にしていきたいという思いをもっている。 ・高架下の活用計画がなく、駐輪場になることによる東西分断、資材置き場になることによる安心・安全面での不安を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商店街活性化法に基づく地域商店街活性化計画は、地域ニーズを踏まえた事業展開が定められているため、しっかり地域ニーズ、地域住民の声を踏まえて、事業計画づくりを行ってというようアドバイスを受け検討 ・ワークショップ形式で、地域の課題の抽出、解決手法を、地域ニーズを踏まえ話し合いながら作成する手法で検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「成岩南部商店街を取り巻く青山地区の地域商店街活性化計画」の骨子をまとめた。 ・半田市役所（企画課、商工観光課、市民協働課などまちづくり担当課）との連携・協力体制ができた。
みゆき通り商店街発展会 【武豊町】 (西脇正倫)	<p>○駅前街区・県道一体整備によるみゆき通りまちづくり構想の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道拡幅により店前駐車場や店舗の一部が拡幅にかかる店舗が多数発生 ・区画整理事業後の土地利用が十分に検討されておらず、武豊町中心市街地としての再生方向及び商店街のあり方が具体化していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備事業の枠では、道路用地内の整備しかできないこと、都市再生整備計画等まちづくりの総合的な事業についてアドバイスを受けた ・ワークショップ的に商店街メンバーの地区整備ニーズ、道路整備に関する期待と不安を具体化し、道路整備をまちづくりに結びつける手法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業に伴う道路及び後背地の利用について意見書を提出し、町が今後策定する三期計画の中で対応を検討することなど、町と一定の合意を形成した。
豊田市永覚新町商店街振興組合 【豊田市】 (名倉弘二)	<p>○「にぎやか市」、「永新ゼミ」のリニューアル、商店街の担い手となる「若手の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に事業を行っているが、必ずしも全ての事業が目標設定した通りに進んでいるわけではなく、現在の課題を踏まえた修正、改善などの事業のリニューアルが必要 ・5年後、10年後の商店街を見据えた場合現役の役員が高齢化を迎えるため、若手の育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・直近の課題だけでなく、すぐには解決が難しいと思われるテーマでも、将来的な商店街の姿を思い描きながら解決に向けて話し合っていくようアドバイスを受け検討 ・行動指針・行動計画づくりでは、ワークショップ形式で、課題の抽出、解決方法を出し合い、さらに地域ニーズを踏まえながら作成していく手法で検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「にぎやか市」、「永新ゼミ」の課題及び商店街の担い手となる「若手の育成」を踏まえた行動指針・行動計画をまとめ、具体的に行動していく体制づくりができた。